



## PC の接続と GUI へのログイン

この章では、Cisco ONS 15454 SDH に PC とワークステーションを接続する方法と、Cisco ONS 15454 SDH の保守運用管理とプロビジョニング(OAM&P)ユーザインターフェイスである Cisco Transport Controller (CTC; シスコ トランスポート コントローラ) ソフトウェアへログインする方法について説明します。Transaction Language One (TL1) を使用する ONS 15454 への接続手順については、『Cisco ONS 15454 SDH and Cisco ONS 15600 SDH TL1 Command Guide』を参照してください。

### 準備作業

この章では次の NTP (手順) について説明します。適用する DLP (作業) については、各手順を参照してください。

1. [NTP-D278 CTC 用コンピュータのセットアップ \(p.3-2\)](#) — PC またはワークステーションを ONS 15454 SDH に接続したことがない場合は、この手順を実行します。
2. [NTP-D260 ONS 15454 SDH へローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ \(p.3-4\)](#) — ONS 15454 SDH にオンサイトでクラフト接続するようにコンピュータを設定する場合は、この手順を実行します。
3. [NTP-D261 ONS 15454 SDH に社内 LAN で接続するためのコンピュータのセットアップ \(p.3-6\)](#) — 社内 LAN を介して ONS 15454 SDH に接続するようにコンピュータを設定する場合は、この手順を実行します。
4. [NTP-D262 ONS 15454 SDH へのリモート アクセス接続のセットアップ \(p.3-7\)](#) — ONS 15454 SDH にリモート モデムを介してアクセスするようにコンピュータを設定する場合は、この手順を実行します。
5. [NTP-D23 ONS 15454 SDH GUI へのログイン \(p.3-8\)](#) — CTC にログインする場合は、この手順を実行します。
6. [NTP-D357 CTC ランチャ アプリケーションを使用した複数の ONS ノードの管理 \(p.3-9\)](#) — CTC ランチャ アプリケーションをインストールおよび使用する場合は、この手順を実行します。

## NTP-D278 CTC用コンピュータのセットアップ

目的	この手順では、CTC を実行するように PC または UNIX ワークステーションを設定します。
工具 / 機器	Cisco ONS 15454 SDH リリース 8.5 ソフトウェア CD
事前準備手順	<a href="#">第1章「シェルフとFMECの設置」</a>
必須 / 適宜	必須
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし



(注)

リリース 8.5 を実行中のノードへログインする場合は、JRE 5.0 が必要です。4.5 以前のリリースを実行中のノードへログインする場合は、JRE 1.4.2 または 5.0 をアンインストールしてから、JRE 1.3.1\_2 をインストールする必要があります。必要に応じて、「[DLP-D422 JRE バージョンの入れ替え](#)」(p.21-4) を実行してください。

- ステップ 1** コンピュータに適切なブラウザがインストールされていない場合は、次の操作を実行してください。
- Netscape 7.x をインストールする場合は、次のサイトからブラウザをダウンロードします。  
<http://channels.netscape.com/ns/browsers/default.jsp>
  - PC に Internet Explorer 6.x をインストールする場合は、次のサイトからブラウザをダウンロードします。<http://www.microsoft.com>
- ステップ 2** CTC 効率を向上させるには、「[DLP-D224 Java 仮想メモリ ヒープ サイズの調整](#)」(p.19-27) を実行します。
- ステップ 3** コンピュータが Windows PC の場合は、「[DLP-D433 Windows での CTC インストール ウィザードの実行](#)」(p.21-20) を行ってから **ステップ 5** へ進んでください。
- ステップ 4** コンピュータが UNIX ワークステーションの場合は、「[DLP-D434 UNIX での CTC インストール ウィザードの実行](#)」(p.21-24) を行ってください。
- ステップ 5** PC またはワークステーションが準備できている場合は、ネットワークに合わせて次のセットアップ手順へ進んでください。
- [NTP-D260 ONS 15454 SDH](#) へローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ (p.3-4)
  - [NTP-D261 ONS 15454 SDH](#) に社内 LAN で接続するためのコンピュータのセットアップ (p.3-6)
  - [NTP-D262 ONS 15454 SDH](#) へのリモート アクセス接続のセットアップ (p.3-7)



(注) シスコの光機器へのアクセスに使用するコンピュータでは、ユーザ ID およびパスワードのキャッシュをディセーブルにするようにブラウザを設定することを推奨します。

Internet Explorer では、[ツール] > [インターネット オプション] > [コンテンツ] をクリックします。[オートコンプリート] をクリックし、[フォームのユーザー名およびパスワード] オプションをオフにします。

Netscape 7.0 では、[編集] > [設定] > [プライバシーとセキュリティ] > [フォーム] をクリックし、フォーム データの保存に関するオプションをオフにします。パスワードについては、[編集] > [設定] > [プライバシーとセキュリティ] > [パスワード] をクリックし、パスワードの保存に関するオプションをオフにします。パスワードは、暗号化して保存できます。Netscape 6.0 より前のバージョンでは、ユーザ ID とパスワードをキャッシュに保存できません。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D260 ONS 15454 SDH ローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ

目的	この手順では、ONS 15454 SDH にオンサイトでローカルクラフト接続するように Windows PC または Solaris ワークステーションをセットアップします。
工具 / 機器	Network Interface Card (NIC; ネットワーク インターフェイス カード)。イーサネット カードとも呼ばれています。  ストレート型 (CAT-5) LAN ケーブル
事前準備手順	<a href="#">NTP-D278 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし

**ステップ 1** [表 3-1](#) に示す CTC コンピュータのセットアップ作業の中から、CTC の接続環境に合わせて必要なものを実行してください。

**表 3-1 ONS15454 SDH ローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ**



CTC の接続環境	CTC コンピュータのセットアップ作業
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows PC から接続する。</li> <li>1 台の ONS 15454 SDH に接続する。</li> <li>ONS 15454 SDH には備わっていないアプリケーション (ping や tracert [ルートのトレース] など) へアクセスする必要がある。</li> </ul>	<a href="#">DLP-D50 スタティック IP アドレスを使って同じサブネット上の ONS 15454 SDH にクラフト接続するための Windows PC の設定 (p.17-38)</a>
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows PC から接続する。</li> <li>CTC コンピュータが Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) 向けにプロビジョニングされている。</li> <li>ONS 15454 SDH で DHCP フォワーディングがイネーブルになっている。</li> <li>ONS 15454 SDH が DHCP サーバに接続されている。</li> </ul>	<a href="#">DLP-D51 DHCP を使って ONS 15454 SDH にクラフト接続するための Windows PC の設定 (p.17-41)</a>
 <p><b>(注)</b> ONS 15454 SDH 自体からは IP アドレスが提供されません。DHCP をイネーブルにした場合は、DCHP の要求が外部の DHCP サーバに渡されます。</p>	 <p><b>(注)</b> 最初のノードをターンアップするときには、この作業を使用しないでください。この作業手順は、ONS 15454 SDH で DHCP の転送機能がイネーブルになっている場合にのみ使用してください。デフォルトでは、DHCP がイネーブルになっていません。イネーブルにする場合は、「<a href="#">NTP-D169 CTC ネットワーク アクセスの設定 (p.4-8)</a>」を参照してください。</p>

表 3-1 ONS15454 SDH ヘローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ

CTC の接続環境	CTC コンピュータのセットアップ作業
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows PC から接続する。</li> <li>アクセスするすべてのノードでソフトウェア リリース 3.3 以降が実行されている。</li> <li>別々の場所にある ONS 15454 SDH ノードに何度も接続するが、そのたびに PC の IP を再設定しなくてもすむようにしたい。</li> <li>ONS 15454 SDH に備わっていないアプリケーション (ping や tracert [ルートのトレース] など) へアクセスしたり、これらのアプリケーションを使用したりする必要がない。</li> <li>ONS 15454 SDH TCC2/TCC2P イーサネット ポートまたは FMEC LAN ピンに直接接続するか、ハブを介して接続する。</li> </ul>	DLP-D52 自動ホスト検出を使用した ONS 15454 SDH へのクラフト接続のための Windows PC の設定 (p.17-43)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Solaris ワークステーションから接続する。</li> <li>1 台の ONS 15454 SDH に接続する。</li> <li>ONS 15454 SDH には備わっていないアプリケーション (ping や tracert [ルートのトレース] など) へアクセスする必要がある。</li> </ul>	DLP-D319 ONS 15454 SDH にクラフト接続するための Solaris ワークステーションの設定 (p.20-11)

**ステップ 2** ストレート型 (CAT-5) LAN ケーブルを PC または Solaris ワークステーションの NIC から次のどれかに直接接続します。

- アクティブまたはスタンバイ TCC2/TCC2P カード上の RJ-45 (LAN) ポート
- MIC-C/T/P FMEC 上の RJ-45 ジャック
- ONS 15454 SDH を物理的に接続するハブまたはスイッチ上の RJ-45 (LAN) ポート



(注) 独自のストレート型 (CAT-5) LAN ケーブルを圧着する方法については、『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照してください。



(注) シェルフを最初にターンアップする場合は、PC を ONS 15454 TCC2/TCC2P カードの LAN ポートに直接接続する必要があります。

**ステップ 3** 必要な場合は、「NTP-D23 ONS 15454 SDH GUI へのログイン」(p.3-8) へ進んでください。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D261 ONS 15454 SDH に社内 LAN で接続するためのコンピュータのセットアップ

目的	この手順では、社内 LAN を介して ONS 15454 SDH にアクセスするようにコンピュータをセットアップします。
工具 / 機器	NIC。イーサネットカードとも呼ばれています。
事前準備手順	ストレート型 (CAT5) LAN ケーブル <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">NTP-D278 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2)</a></li> <li>• ONS 15454 SDH に LAN の接続に必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど) がプロビジョニングされていること</li> <li>• ONS 15454 SDH が社内 LAN に物理的に接続されていること</li> <li>• CTC コンピュータを、ONS 15454 SDH に接続可能な社内 LAN に接続しておくこと</li> </ul>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし

**ステップ 1** コンピュータが社内 LAN にすでに接続されている場合は、[ステップ 3](#) へ進みます。ONS 15454 SDH ヘクラフトアクセスするようにコンピュータのネットワーク設定を変更した場合は、設定内容を社内 LAN へアクセスする設定に戻します。通常は、次の操作を実行します。

- TCP/IP ダイアログボックスにある IP アドレスを [IP アドレスを自動的に取得] (Windows 98、2000、または XP の場合) または [DHCP サーバーから IP アドレスを取得する] (Windows NT の場合) に設定します。
- 使用している LAN で Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) または Windows Internet Naming Service (WINS) をイネーブルにする必要がある場合は、TCP/IP ダイアログボックスの [DNS 設定] タブまたは [WINS 設定] タブで設定を変更します。

**ステップ 2** ストレート型 (CAT-5) LAN ケーブルを PC または Solaris ワークステーションの NIC カードから社内 LAN ポートに直接接続します。

**ステップ 3** コンピュータがプロキシ サーバに接続されている場合は、プロキシ サービスをディセーブルにするか、または ONS 15454 SDH ノードを例外として追加します。プロキシ サービスをディセーブルにする場合は、使用している Web ブラウザに応じて次のいずれかの作業を行います。

- [DLP-D56 Internet Explorer によるプロキシ サービスのディセーブル化 \(Windows\) \(p.17-47\)](#)
- [DLP-D57 Netscape によるプロキシ サービスのディセーブル化 \(Windows および UNIX\) \(p.17-48\)](#)

**ステップ 4** 「[NTP-D23 ONS 15454 SDH GUI へのログイン](#)」 (p.3-8) へ進んでください。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D262 ONS 15454 SDH へのリモート アクセス接続のセットアップ

目的	この手順では、LAN モデムを介して CTC コンピュータを ONS 15454 SDH に接続します。
工具 / 機器	モデムおよびモデムのマニュアル。モデムは、次の条件を満たすようにセットアップする必要があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ONS 15454 SDH に接続する。</li><li>• ONS 15454 SDH 向けにプロビジョニングする。</li><li>• CTC を実行できるようにイーサネットアクセスをプロビジョニングする。</li></ul>
事前準備手順	<a href="#">NTP-D278 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2)</a>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	なし

**ステップ 1** TCC2/TCC2P カード上の RJ-45 (LAN) ポートまたは MIC-C/T/P FMEC 上の RJ-45 ジャックにモデムを接続します。

**ステップ 2** モデムのマニュアルを参照しながら次の作業を行って、ONS 15454 SDH 用にモデムをプロビジョニングします。

- CTC アクセスの場合は、イーサネットアクセス用にモデムを設定します。
- モデムに ONS 15454 SDH と同じサブネット上の IP アドレスを割り当てます。
- モデムから CTC コンピュータに割り当てる IP アドレスは、そのモデムおよび ONS 15454 SDH と同じサブネット上に存在しなければなりません。



**(注)** 特定のモデムをプロビジョニングする際のサポートについては、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡してください。詳細については、「[マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、およびセキュリティガイドライン](#)」(p.xxv) を参照してください。

**ステップ 3** 「[NTP-D23 ONS 15454 SDH GUI へのログイン](#)」(p.3-8) へ進んでください。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D23 ONS 15454 SDH GUI へのログイン

目的	この手順では、CTC (ONS 15454 SDH の管理に使用する GUI [グラフィカル ユーザ インターフェイス] ソフトウェア) へログインします。この手順には、オプションのノード ログイン作業も含まれています。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D278 CTC 用コンピュータのセットアップ (p.3-2)  次の手順のいずれか <ul style="list-style-type: none"> <li>• NTP-D260 ONS 15454 SDH へローカルにクラフト接続するための CTC コンピュータのセットアップ (p.3-4)</li> <li>• NTP-D261 ONS 15454 SDH に社内 LAN で接続するためのコンピュータのセットアップ (p.3-6)</li> <li>• NTP-D262 ONS 15454 SDH へのリモート アクセス接続のセットアップ (p.3-7)</li> </ul>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	検索以上のレベル

**ステップ 1** 「DLP-D60 CTC へのログイン」 (p.17-49) を実行します。



(注) CTC 内をナビゲートする方法については、付録 A 「CTC の情報とアクセスのためのショートカット」を参照してください。

CTC は、ネットワーク トポロジの検出中にネットワーク上の各ノードをポーリングし、どのノードに CTC ソフトウェアの最新版が含まれるかを調べます。CTC は、現在実行中のものより新しいバージョンの CTC ソフトウェアを含むノードをネットワーク上で検出した場合、より新しいバージョンの CTC がネットワーク上で検出されたというメッセージを生成し、CTC ソフトウェアアップグレードのインストールを促します。ネットワーク検出をディセーブルにしている場合は、より新しいバージョンのソフトウェアは検索されません。到達不能なノードは、このアップグレード検出には含まれません。



(注) CTC ソフトウェアをアップグレードすると、既存のソフトウェアに上書きされます。アップグレードを実行したあとは、CTC を再起動する必要があります。

**ステップ 2** 必要に応じて、「DLP-D61 ログイン ノード グループの作成」 (p.17-52) を実行します。ログイン ノード グループを使用することにより、Data Communication Channel (DCC; データ通信チャネル) を介してログイン ノードに接続されていないノードを管理できます。

**ステップ 3** 必要に応じて、「DLP-D62 現在のセッションまたはログイン グループへのノードの追加」 (p.17-53) を実行します。

**ステップ 4** 必要に応じて、「DLP-D35 現在のセッションまたはログイン グループからのノードの削除」 (p.17-30) を実行します。



**ステップ 5** 必要に応じて、「[DLP-D25 自動的にポップアップ表示するための CTC Alerts ダイアログボックスの設定](#)」(p.17-21) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-D357 CTC ランチャアプリケーションを使用した複数のONSノードの管理

目的	この手順では、CTC ランチャを使用して、CTC コンピュータと IP 接続している ONS ネットワーク要素 (NE) との CTC セッションを開始し、サードパーティ製の OSI ベース Gateway Network Element (GNE; ゲートウェイ ネットワーク エlement) の反対側の ONS NE と接続するため TL1 トンネルを作成し、CTC を使用する TL1 トンネルを表示、管理、および削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	<a href="#">NTP-D278 CTC 用コンピュータのセットアップ</a> (p.3-2)  次の手順のいずれか <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">NTP-D260 ONS 15454 SDH</a> ヘローカルにクラフト接続するための <a href="#">CTC コンピュータのセットアップ</a> (p.3-4)</li> <li>• <a href="#">NTP-D261 ONS 15454 SDH</a> に社内 LAN で接続するための <a href="#">コンピュータのセットアップ</a> (p.3-6)</li> </ul>
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	検索以上のレベル



**(注)** CTC ランチャアプリケーションを使用する PC には、JRE 5.0 がインストールされていなければなりません。

**ステップ 1** 必要に応じて次のいずれかの作業を実行し、CTC ランチャをインストールします。

- [DLP-D472 リリース 8.5 ソフトウェア CD からの CTC ランチャアプリケーションのインストール](#) (p.21-54)
- [DLP-D473 リリース 8.5 ノードからの CTC ランチャアプリケーションのインストール](#)(p.21-54)

**ステップ 2** 必要に応じて「[DLP-D474 CTC ランチャを使用した ONS ノードへの接続](#)」(p.21-55) を実行し、ONS NE とダイレクト IP 接続します。

**ステップ 3** 必要に応じて「[DLP-D480 CTC JAR ファイルのインストールまたは再インストール](#)」(p.21-62) を実行し、CTC JAR ファイルをインストールまたは再インストールします。

**ステップ4** 必要に応じて次のいずれかの作業を実行し、TL1 トンネルを作成して、ONS ベースのサードパーティ製 GNE の背後にある ONS NE に接続できるようにします。

- [DLP-D475 CTC ランチャを使用した TL1 トンネルの作成 \(p.21-56\)](#)
- [DLP-D476 CTC を使用した TL1 トンネルの作成 \(p.21-58\)](#)

**ステップ5** 必要に応じて、「[DLP-D477 TL1 トンネル情報の表示 \(p.21-59\)](#)」を実行します。

**ステップ6** 必要に応じて、「[DLP-D478 CTC を使用した TL1 トンネルの編集 \(p.21-60\)](#)」を実行します。

**ステップ7** 必要に応じて、「[DLP-D479 CTC を使用した TL1 トンネルの削除 \(p.21-61\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

---